



心ひとつ、雪に挑戦

— 県立只見高等学校 —

2月に開催される「只見ふるさと雪まつり」に参加、全校をあげて雪像づくりに挑戦しています。生徒が中心となり、雪像を決め、模型をつくり、設計図に従って、大きな雪像に挑みます。学年、クラスを問わず、毎日学年ごとに会場に行き、一つの雪像を完成させる喜びもまた格別です。「さあ、いくぞ〜。」今日もスコップを持って。

こころ豊かに

～元気はつらつ 福島っ子の冬～

郷土の文化にふれる

— 浪江町立請戸小学校 —

寒風吹き抜ける2月24日、浪江町請戸の安波祭には、請戸地区の児童生徒が、郷土文化の理解を深めることを目的に多数参加しています。この祭は、地区内の守り神である茗野神社に田植え踊りなどを奉納した後、男子はお神輿を担ぎ、女子は踊りを披露しながら地区内を回り、その年の五穀豊饒と船の安全、豊漁を願う300有余年の伝統を誇る行事です。



銀盤の妙技

フィギュアスケート競技の選手たちは、毎日の授業が終わると、専属コーチの指導で、連日、厳しい練習を続けています。

そのひたむきな努力により、精神面が急成長し、先般、群馬県で開催された上州国体において、少年女子種別団体競技で見事4位に入賞しました。来年に迫った「ふくしま国体」での活躍が期待されています。

稲葉裕子選手（安女）

伊藤友美選手（帝京安積）